

エゼキヤ
聖徒伝 237

永遠の約束 主にある希望

エゼキヤ書 10章

偶像礼拝と裁き

アウトライン

0. イントロダクション

I. 偶像礼拝とイスラエル

II. 偶像礼拝と裁き 10:1～25

III. まとめと適用

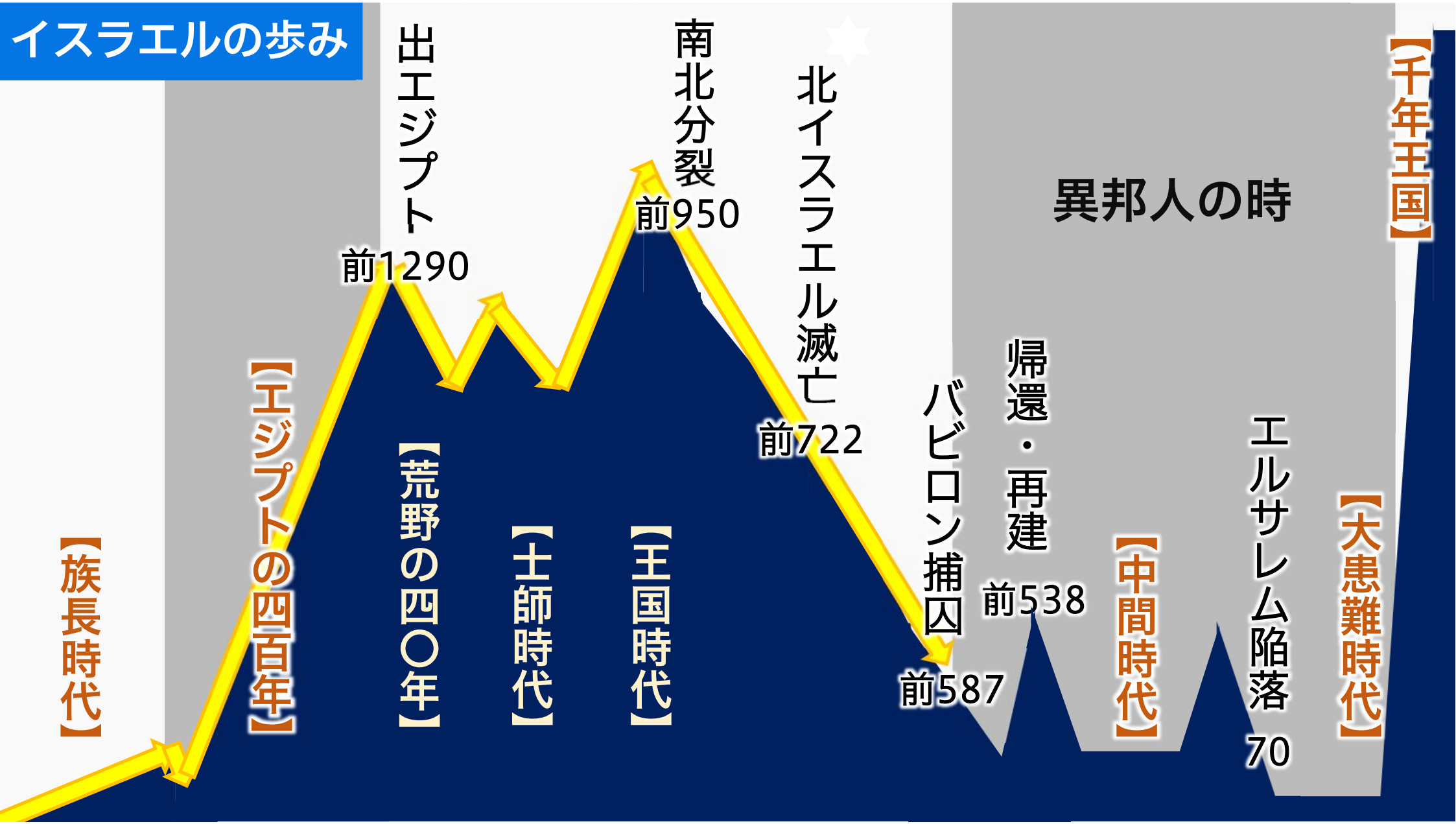
永遠の約束 主にある希望



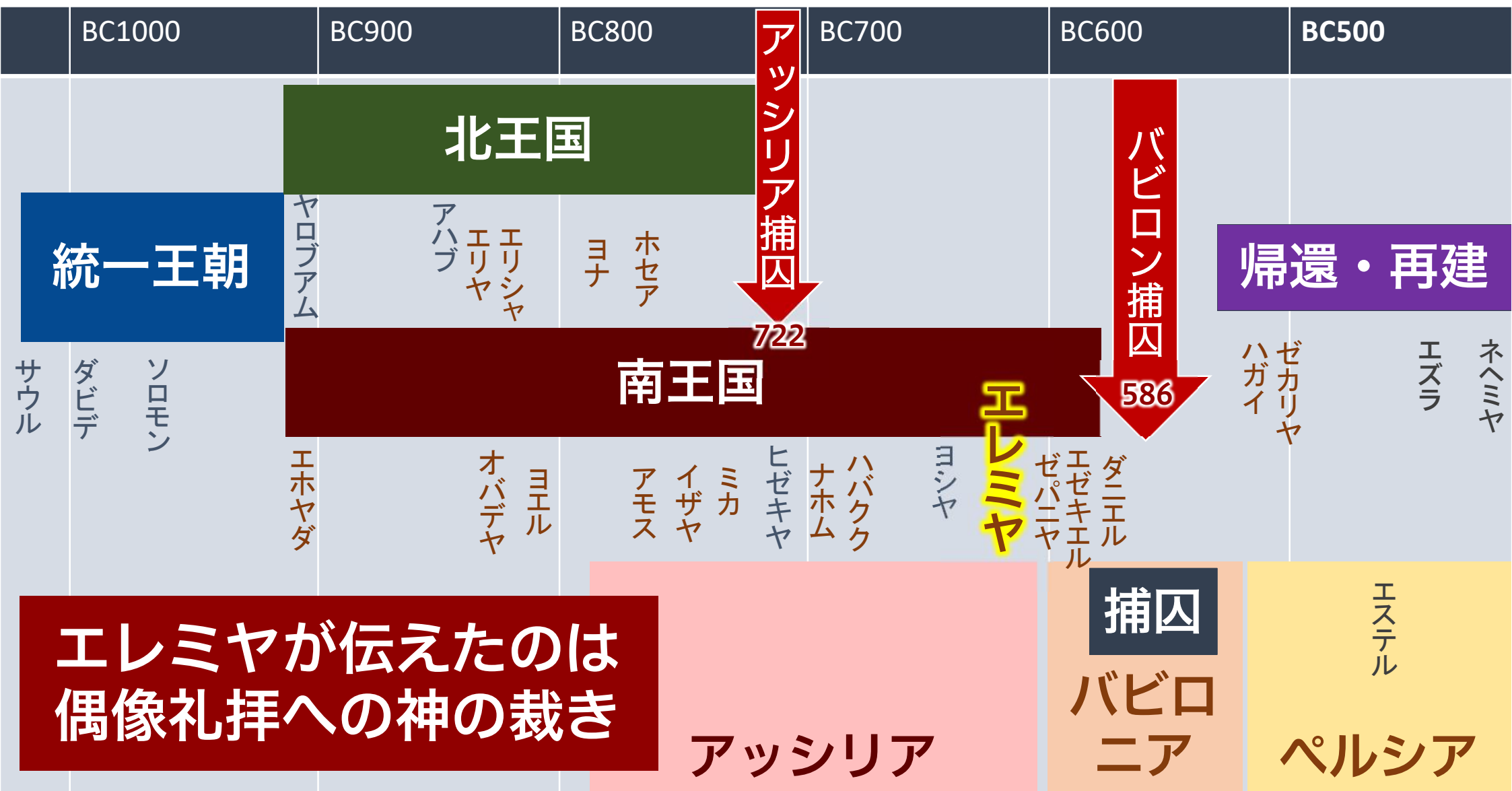


0. イントロダクション

イスラエルの歩み



イスラエル王国史





Ⅰ. 偶像礼拝とイスラエル

ダンの神殿跡地

罪の本質

■ 墮天使サタンの誘惑・蛇が言ったこと

「それを食べるそのとき、目が開かれて、あなたがたが**神のよう**になって善悪を知る者となる 創世記3:5」

■ 神になろうとして地に落とされたのが、サタン

「おまえは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山で座に着こう。密雲の頂に上り、**いと高き方のように**なろう。イザ14:13~14』

罪の本質は、「神のようになりたい」

偶像礼拝の源流

■最初の殺人を犯したカインの子孫レメクの言葉

「私は一人の男を、私が受ける傷のために殺す。一人の子どもを、私が受ける打ち傷のために。カインに七倍の復讐があるなら、レメクには七十七倍。創4:23～24」

■主の憐れみ →カインを守るための戒めが、“七倍の復讐”

■神以上の七十七倍の復讐を告げたレメク →**自分が神に!!**

■人類と悪霊との交わり、ネフェリムの誕生 →大洪水の滅び

人は、神のようになろうとして、大洪水の滅びを招いた

史上最大の偶像礼拝

- “地上で最初の勇士” “主の前に力ある狩人” それが、ニムロデ
→ 大洪水後の最初の独裁者。神への反逆者。
- ニムロデが築いたのが、バベルの塔
「さあ、われわれは自分たちのために、町と、頂が天に届く塔を建てて、名をあげよう。創11:4」 → **人類が自らを神に!!**
- 主によって統一した言葉を失った人類は、世界に散らされた。
→ 散らされた先々で、小さなバベルの塔 = 偶像を築いた。

アブラハムの最初の礼拝

- アブラハムが最初に礼拝をささげた、
「モレの檜の木のところ」
➔ カナンの偶像礼拝のただ中で、
唯一の主を礼拝した
- 偶像礼拝に染まった人類の中から、
神は、アブラハムを選ばれ、
アブラハムとの約束の上に、
神の民イスラエルを育まれた。



律法で厳しく禁じられた 偶像礼拝

■ 唯一の神とイスラエルとの契約(十戒・第二戒) 出20:3~5

「あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。

あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。

それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。」

■ 律法の規定は、イスラエルを神の民として世から聖別するもの。

→偶像礼拝の禁止は、最重要事項!!

唯一の神の祝福か 偶像礼拝の呪いか

■ 祝福と呪いの宣言 申30:16~18

「もしあなたが、私が今日あなたに命じる命令に聞き、あなたの神、【主】を愛し、主の道に歩み、主の命令と掟と定めを守るなら、あなたは生きて数を増やし、あなたの神、【主】は、あなたが入って行って所有しようとしている地で、あなたを祝福される。

しかし、もしあなたが心を背け、聞き従わず、誘惑されて**ほかの神々**を拝み、これに仕えるなら、今日、私はあなたがたに宣言する。あなたがたは必ず滅び失せる。あなたがヨルダン川を渡り、入って行って所有しようとしているその土地で、あなたの日々が長く続くことはない。」



II. 偶像礼拝と裁き

エレミヤ書10:1～25

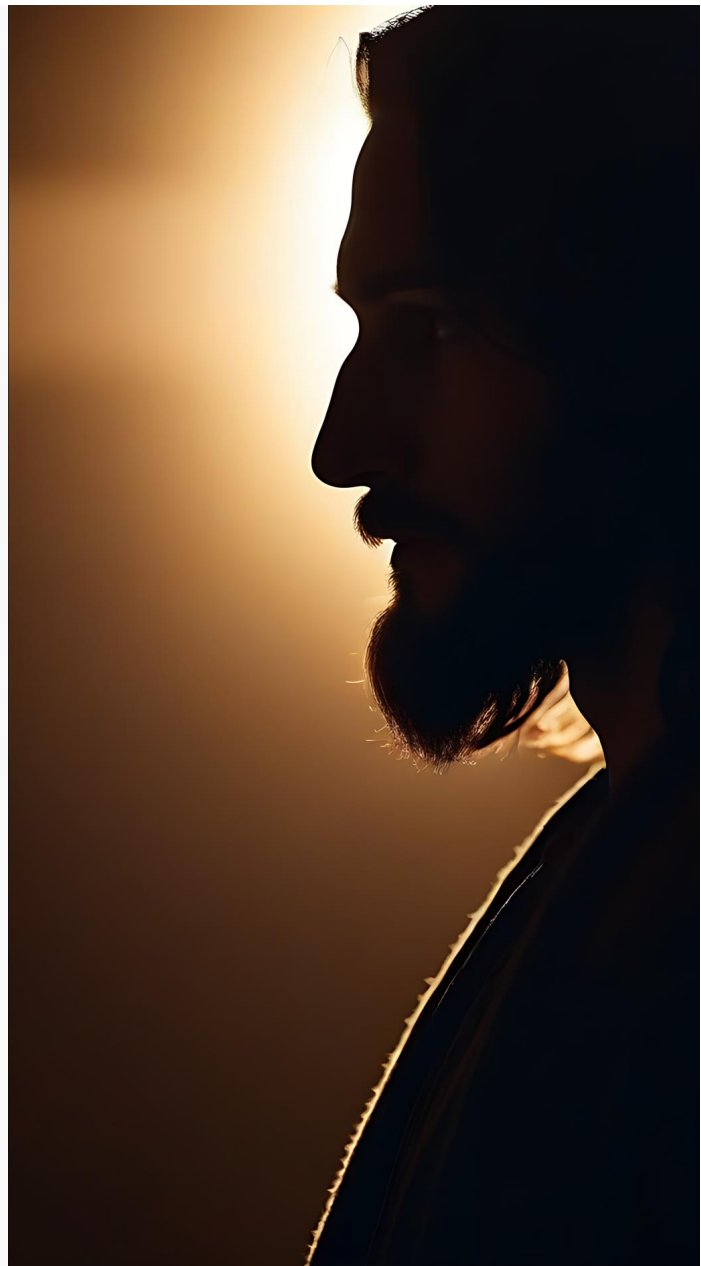
第一連 主の御告げ エレミヤ10:1～2

イスラエルの家よ、【主】があなたがたに語られたことばを聞け。

「【主】はこう言われる。諸国の道*を見習うな。天のしるし*にうろたえるな。諸国がそれらにうろたえても。」

*異邦人諸国の偶像礼拝の道

*天から下る主の裁きとしての、しるし(奇跡)



第一連 空しい偶像 エレミヤ10:3～5

「国々の民の慣わし*は空しいからだ。それは、林から切り出された木、木工が、なたで作った物にすぎない。それは銀と金で飾られ、釘や槌で、ぐらつかないよう打ち付けられる。

それは、きゅうり畑のかかしのようで、ものも言えず、歩けないので、運んでやらなければならない。そんなものを恐れるな。害になることも益になることもしないからだ。」

*偶像



第二連 並ぶ者なき主 エレミヤ10:6~7

【主】よ、あなたに並ぶものはありません。あなたは大きいなる方。あなたの御名は、力ある大きいなるものです。

国々の王である方、あなたを恐れない者がいるでしょうか。そのことは、あなたにとっては当然のことです。まことに、国々のすべての知恵ある者の中にも、そのすべての王国の中にも、あなたに並ぶものはありません。

■ 交互に告げられていくのは、
偶像の愚かさと、**主の偉大さ**



第三連 偶像は人のわざ エレミヤ10:8~9

彼らはみな間抜けであり、愚かなことをする。
空しい神々の訓戒——それは木にすぎない。

銀箔はタルシシュ*から、金はウファズ*から
運ばれる。これは木工と金細工人の手のわざ。
これらの衣は青色と紫色、すべて名匠の作。

*西方の地中海沿岸の貿易都市

*東方のアラビア半島の都市

■ 遠方との貿易、巧みを極めた職人の技術…

膨大な労力を注いだ結果は、むなしい偶像。



第四連 生ける神・主 エレミヤ10:10

しかし、【主】はまことの神、生ける神、とこしえの王。その**御怒り**に地は震え、その憤りに国々は耐えられない。

■ 律法の宣告・偶像への御怒り 申4:25～26

「…あなたがたがその地に長く住むうちに墮落して、何かの形に刻んだ像を造り、あなたの神、【主】の目に悪であることを行い、**御怒り**を引き起こすようなことがあれば、…あなたがたは、ヨルダン川を渡って所有しようとしているその地から追われ、たちまち滅び失せる。」



第五連 偶像は滅びる エレミヤ10:11

「あなたがたは、彼らにこう言え。『天と地を造らなかった神々は、地からも、この天の下からも滅びる』と。」

■ 人が造った偶像の神々は、完全に滅び去る。

➔ 天地を作られた唯一の神だけが、真実

■ 偶像を地から一掃するのは、再臨の主イエス

「ダニエル2:34 あなたが見ておられると、一つの石が人手によらずに切り出され、その像の鉄と粘土の足を打ち、これを粉々に砕きました。」

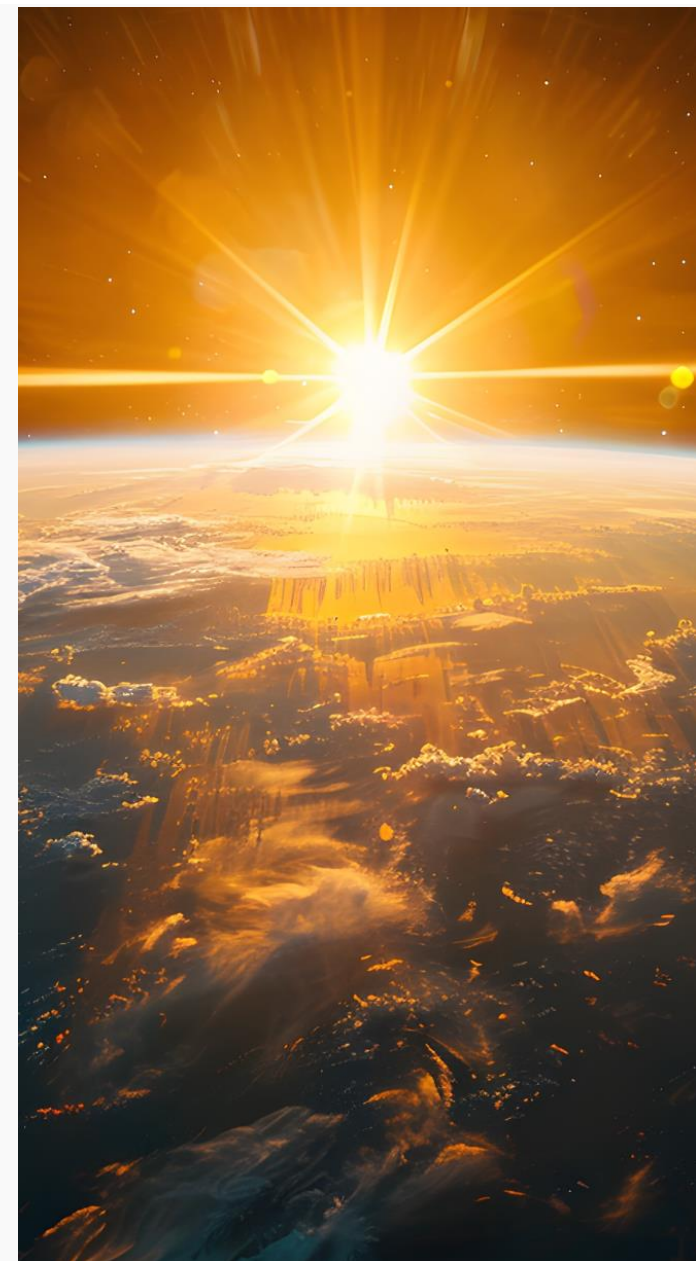


第六連 創造主の支配 エレミヤ10:12~13

主は、御力をもって地を造り、知恵をもって世界を堅く据え、英知をもって天を張られた。

主の御声に、天では水のざわめきが起こる。主は地の果てから雲を上らせ、雨のために稲妻を造り、ご自分の倉から風を出される。

- 主が、天地を造られ、すべての事象を完全に支配しておられる。



第六連 恥ずべき偶像 エレミヤ10:14~16

すべての人間は愚かで無知だ。すべての金細工人は、偶像のために恥を見る*。その鑄た像は偽りで、その中には息*がない。それは空しいもの、物笑いの種だ。刑罰の時に、それらは滅びる。

ヤコブの受ける分はこのようなものではない。主は万物を造る方。イスラエルは主のゆずりの民。その御名は万軍の【主】である。

*主に恥とされる → 永遠の滅び

*吹き込まれた神の息が、命の本質

■ 神の永遠の約束の上にあるのが、イスラエル



第七連 裁きの宣告 エレミヤ10:17～18

包囲されている女*よ、あなたの荷物を地から取り集めよ。

まことに【主】はこう言われる。「見よ。わたしはこの国の住民*を今度こそ放り出して苦しめる。彼ら*が思い知るためだ。」

*エルサレム

*南王国・ユダの住民



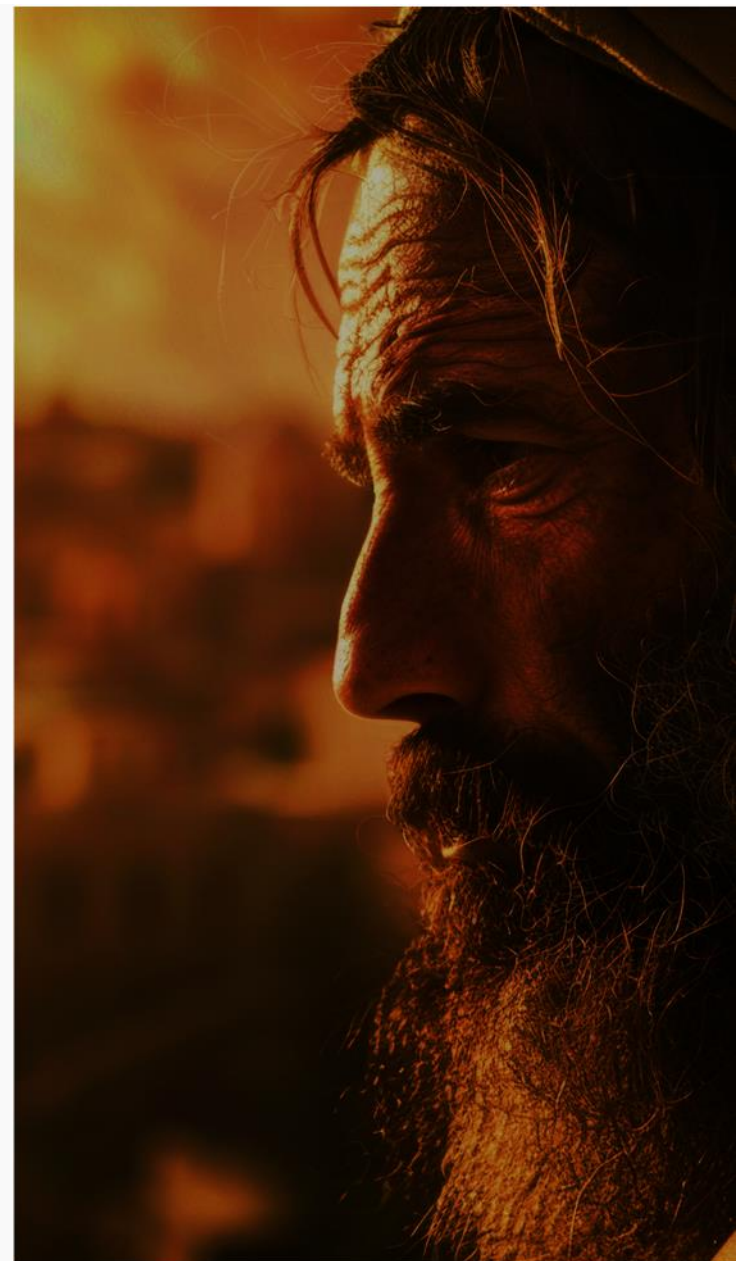
第七連 負うべき病 エレミヤ10:19

ああ、私は悲しい。この傷*のために。この打ち傷*は癒やしがたい。しかし、私は言った。「まことに、これこそ私が負わなければならない病だ。」

*神の裁き・バビロン捕囚

■バビロン捕囚の裁きを告げ、その目撃証人とされたのが、涙の預言者エレミヤ。

約束の民は、律法違反の裁きを免れない



第七連 滅び行く都 エレミヤ10:20～21

私の天幕*は荒らされ、そのすべての綱は断たれ、私の子らも私から去って、もういない。もう私の天幕*を張る者はなく、その幕を広げる者もない。

牧者たち*は愚かで、【主】を求めなかった。それゆえ、彼らは栄えず、彼らが飼うものはみな散らされる。

*神の幕屋ではなく、人の住まい・エルサレム

*イスラエルの指導者たち



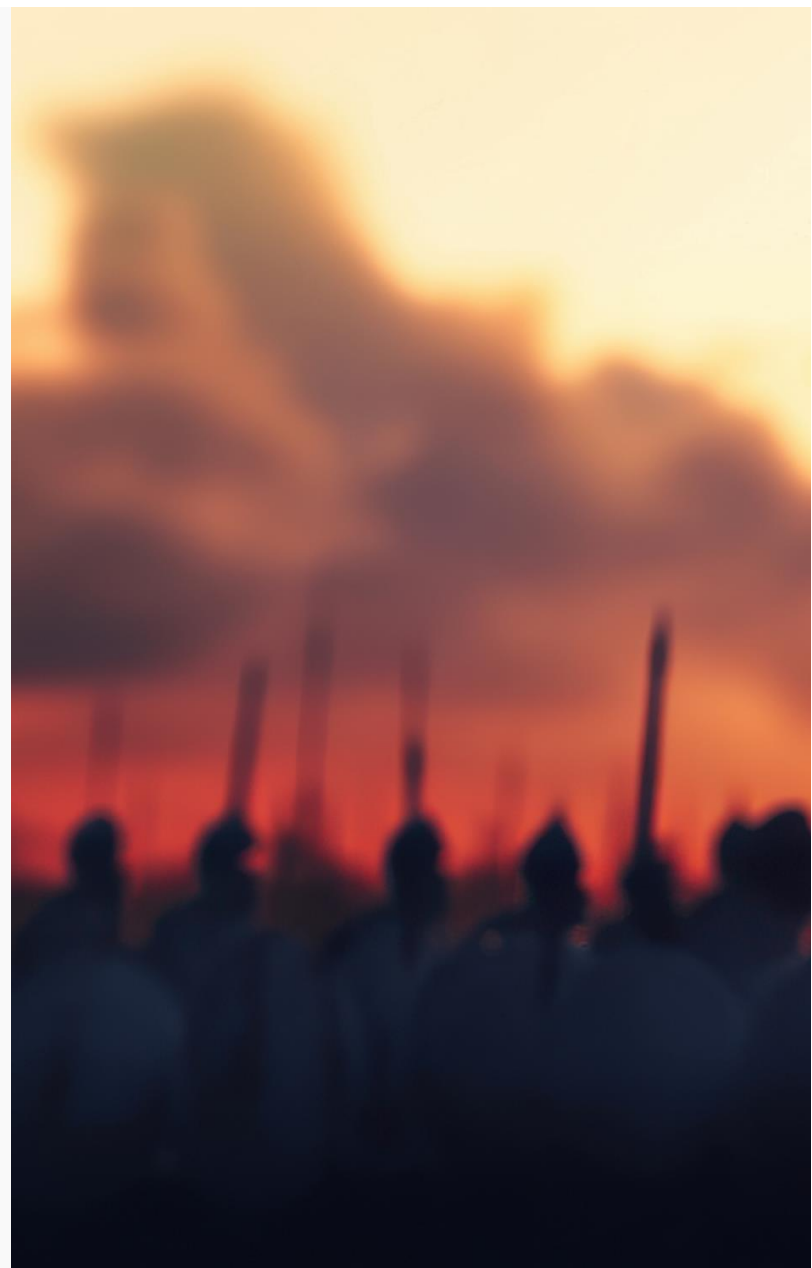
第八連 北方からの侵略者 エレ10:22

声ができる。見よ、一つの知らせが届いた。
大いなるざわめきが北の地から来る*。ユダ
の町々を荒れ果てた地とし、ジャッカル
の住みかとするために。

*北からの侵略者・バビロニア帝国

■主は、偶像礼拝の民を用いて、
イスラエルの偶像礼拝を裁かれた。

➡今も続くイスラエルの苦難



第九連 人によらない人の道 エレ10:23

【主】よ、私は知っています。人間の道はその人によるのではなく、歩むことも、その歩みを確かにすることも、人によるのではないことを。

- 罪人を生かしているのは、主の憐れみ。
- イスラエルの歩みを支えるのは、主の約束。



人類と世界が存続していること自体が、神の奇跡

第九連 懲らしめを求めて エレミヤ10:24

【主】よ、私を懲らしめてください。御怒りによらないで、ただ、公正*をもって。そうでなければ、私は無に帰してしまいます。

*公義(第三版)、正しい道(口語)、

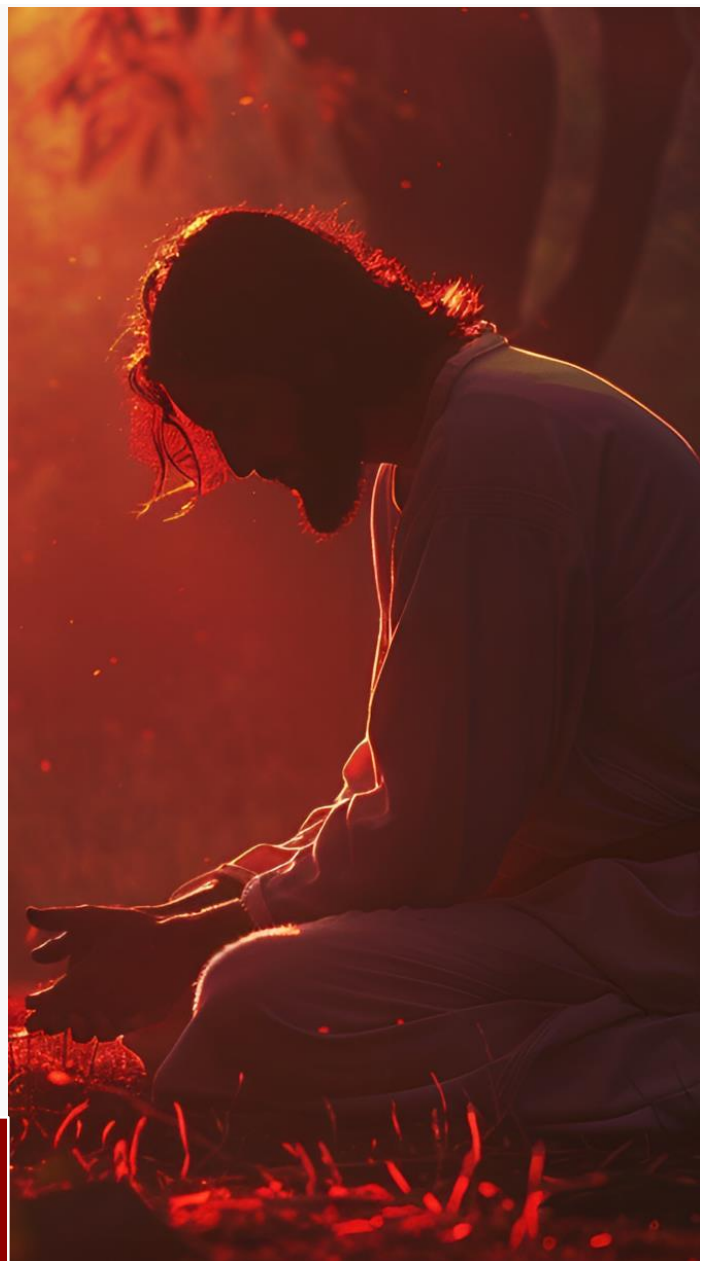
正しい裁き(新共) …主の約束の上の裁き

■主の約束に信頼する者には、

たとえ、苦難の中にあっても救いがある。

➔イスラエルに示された律法の恵み

主の御怒りをすべて受けられたのが、メシア



第九連 裁きを願う エレミヤ10:25

あなたを知らない国々の上に、あなたの御名を呼ばない諸氏族の上に、あなたの憤りを注いでください。彼らはヤコブを食らい、これを食らって滅ぼし、その牧場を荒らしたからです。

- イスラエルの敵への裁きを願うエレミヤ。
- 裁きの器として用いられる者の不信仰には、さらに厳しい裁きが下される。

最終的な裁きは、メシアご自身が下される





Ⅲ. まとめと適用

永遠の約束 主にある希望

神殿の丘とオリーブ山

偶像礼拝と神の裁き

■ 人が神になろうとする。偶像礼拝は、根源的な罪の現れ。

➔ 唯一の神を信じない者は皆、偶像礼拝者

人が造った神か、自分自身が造った神か。自分自身か。

■ 神の民は、偶像からの別離、神による聖別を第一に求められた。

■ 偶像礼拝の結果は、主による裁き。

➔ イスラエルも、諸国の民も、決して免れ得ない。

すべての偶像礼拝者には、主による裁きがある

今も続く、イスラエルへの主の裁き

■ 偶像礼拝の末、バビロン捕囚(BC586)に至ったイスラエル。
捕囚からの解放と悔い改めも束の間。

自分たちで作りだした口伝律法が、新たな偶像に。

■ 口伝律法にすがり、真実のメシアを拒絶。

ローマによるエルサレム陥落(AD70)を招いた。

■ 国家は再興したが、不信仰なままの帰還。

世の終わりの大艱難時代、主による最後の裁きが下される。

主の約束が、イスラエルの存在基盤

- アブラハムへの恵みの約束が、イスラエルの存在を支え続ける。
- イスラエルを迫害した国々は、ことごとく滅んできた
…アラム、アッシリア、バビロニア、ベルシヤ、ギリシャ、ローマ、オスマン…
- イスラエルを守り続ける、アブラハム契約の付帯条項
「わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。創世記12:3」

主が約束された、イスラエルの回復

■申命記30:1～4

私があなたの前に置いた祝福とのろい、これらすべてのことがあなたに臨み、あなたの神、【主】があなたをそこへ追い散らしたすべての国々の中で、あなたが我に返り、あなたの神、【主】に立ち返り、私が今日あなたに命じるとおりに、あなたも、あなたの子どもたちも、心を尽くし、いのちを尽くし、御声に聞き従うなら、あなたの神、【主】はあなたを元どおりにし、あなたをあわれみ、あなたの神、【主】があなたを散らした先の、あらゆる民の中から、**再びあなたを集められる。**

たとえ、あなたが天の果てに追いやられていても、あなたの神、【主】はそこからあなたを集め、そこから**あなたを連れ戻される。**

偶像礼拝 と 反ユダヤ主義

■ 歴史上、最初の反ユダヤ主義が巻き起こったのが、エジプト。

→ 崇められていた数百の偶像、その頂点が、ファラオ

■ カナンもペリシテも、アラムもアッシリアもバビロニアも、偶像礼拝の国々によって、反ユダヤ主義が引き起こされた。

■ 欧州の反ユダヤ主義を牽引したのは、異邦人中心の教会

→ 聖書と同等の権威を伝承の承継者に与え、
女神信仰を取り込み、人間の母を神格化。

現代における 偶像礼拝と反ユダヤ主義

■ 10・7以降、世界中で荒れ狂う反ユダヤ主義

…アムステルダムでの集団暴行。

国際刑事裁判所(ICC)によるネタニヤフ首相への逮捕状

■ 背後に働く、“赤と緑の同盟”

赤 …共産主義者 →唯物論、神の否定、理性の神格化

緑 …パレスチナ、ハマス、イスラム過激テロ組織

→聖書の曲解とねつ造。苦役の強要、暴力の肯定。

史上最大の異端。一神教の皮を被った偶像礼拝。

どんな反ユダヤ主義もイスラエルを滅ぼせない

■エレミヤ書31:35~37

「もしも、これらの掟がわたしの前から去ることがあるなら
—【主】のことば—イスラエルの子孫は絶えて、わたしの前にいつまでも一つの民であることはできない。」

【主】はこう言われる。

「もしも、上の天が測られ、下の地の基が探り出されることがあるなら、わたしも、イスラエルのすべての子孫を、彼らの行ったすべてのことのゆえに退ける。—【主】のことば」

神の約束と世界を破壊できない限り、イスラエルは滅ぼせない

イスラエルのメシアの約束を胸に刻もう

■ 預言通りに来られたイスラエルのメシア、主イエスは、イスラエルと、私たちすべての異邦人の罪のため、神の怒りを身に受け、十字架で死なれ、葬られ、しかし、死を打ち破って栄光の姿で復活され、天に昇られた。世の終わりの裁きの後、地上に神の王国を建てられる。

■ 福音を信じて救われた、異邦人の私たちは、イスラエルへの永遠の恵みの約束に接ぎ木されている。

主の約束を、御霊によって、この心に刻みつけよう!!

メシアによるイスラエルの回復

■ マタイ福音書24:30~31

そのとき、人の子のしるしが天に現れます。そのとき、地のすべての部族は胸をたたいて悲しみ、人の子が天の雲のうちに、偉大な力と栄光とともに来るのを見るのです。

人の子は大きなラッパの響きとともに御使いたちを遣わします。すると御使いたちは、天の果てから果てまで四方から、人の子が選んだ者たちを集めます。

再臨の主イエスが、真のイスラエルを帰還させられる

★ 永遠の約束の視点から、今を見つめ、希望を告げよう ★

- 反ユダヤ主義が極まるのが、大艱難時代の反キリストの大迫害。産みの苦しみの時代の今、現に反ユダヤ主義は高まりつつある。
- それでも今はなお恵みの時代。苦難と試練のただ中であっても、福音宣教に遣わされる者のすべての必要を主が満たされる。
- 偶像礼拝者が救いに導かれ、主に栄光が帰されていく。主の御手にすがり、主の御業をほめたたえよう。

主の約束を礎に、福音を告げ知らせていこう!!

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したこと、を信じます。

偶像礼拝の闇から、主が私を救い出してくださいました。

小さくとも、世を照らすともしびとして、私を用いてください。

混沌を深める世界にあっても、主の御約束は揺るぎません。

この恵みの福音を告げ知らせる者として、私を遣わしてください。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」